取組１
カリキュラムの充実
～熊大式マネジメントシステムの構築～

教育課程のPDCAサイクルにおける検討

瀬田　理（熊本大学教育学部附属特別支援学校）

子どもの夢や希望の実現に向けた「熊大式授業づくりシステム」を基に学習と指導の評価を教育課程改善に生かす体制へ

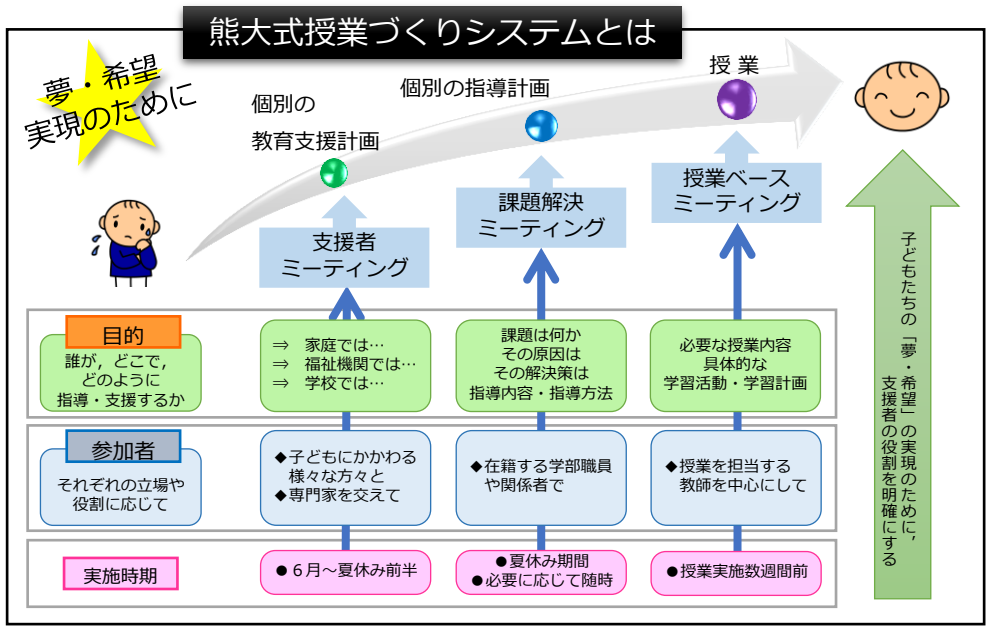
1ヵ年目	2ヵ年目	3ヵ年目
熊大式マネジメントシステムの構想	**熊大式マネジメントシステムの構築**	熊大式マネジメントシステムの実践検証

現状の課題から
○評価シートや各種ツール等の増加傾向
→評価内容の精選，明確化
○教育課程評価と他業務（教育実習指導・評価等）の時期の重なりによる多忙化
→評価時期の見直し

熊大式授業づくりシステム ⇄ PDCAサイクル

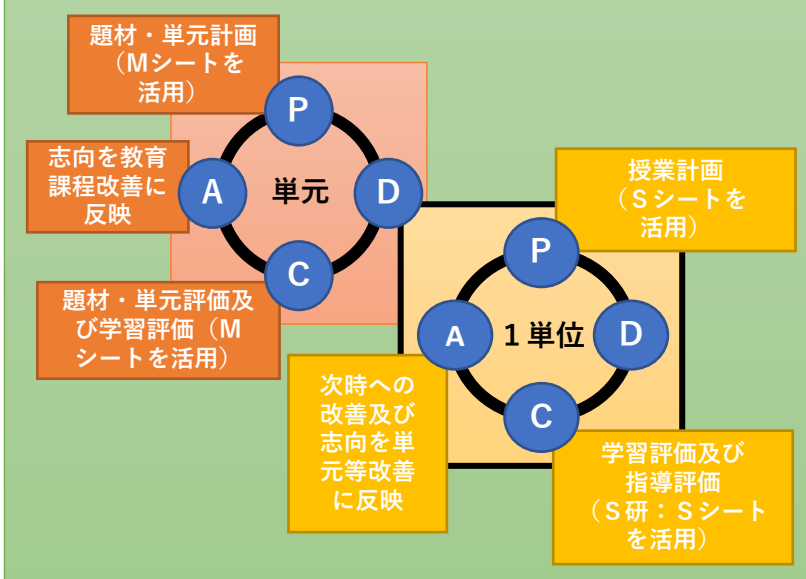
相互の質が高まるように

熊大式授業づくりシステムとは



教育課程のＰＤＣＡサイクルについて再確認

年間を通してPDCAサイクルを３期に分けて実施する。
P：年間単元等全体計画（Ｌシートを活用），教科別等年間計画。
D：単元段階，１単位授業段階においてPDCAサイクルを実施。
各段階の評価及び改善案を次の段階へ反映させる。

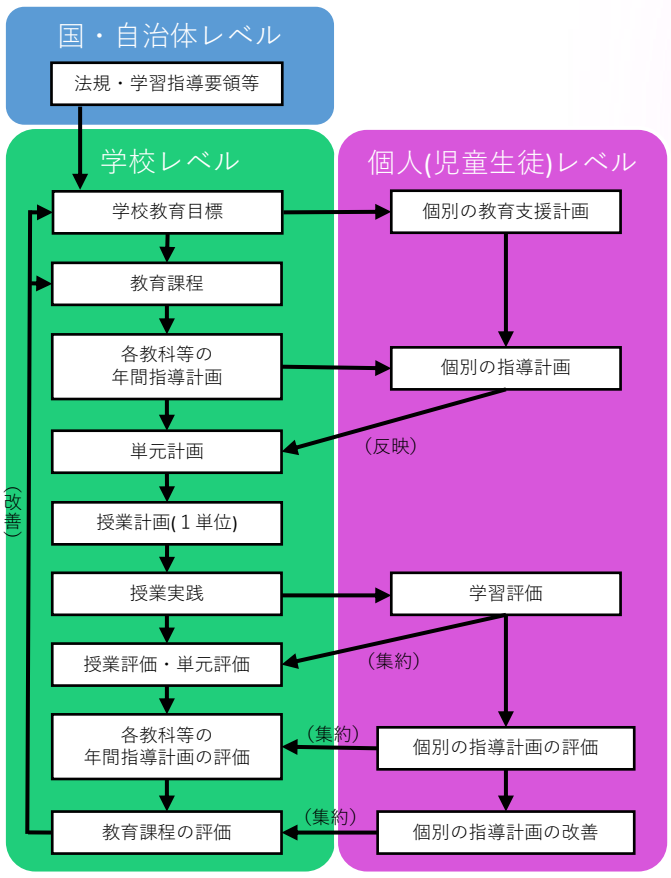


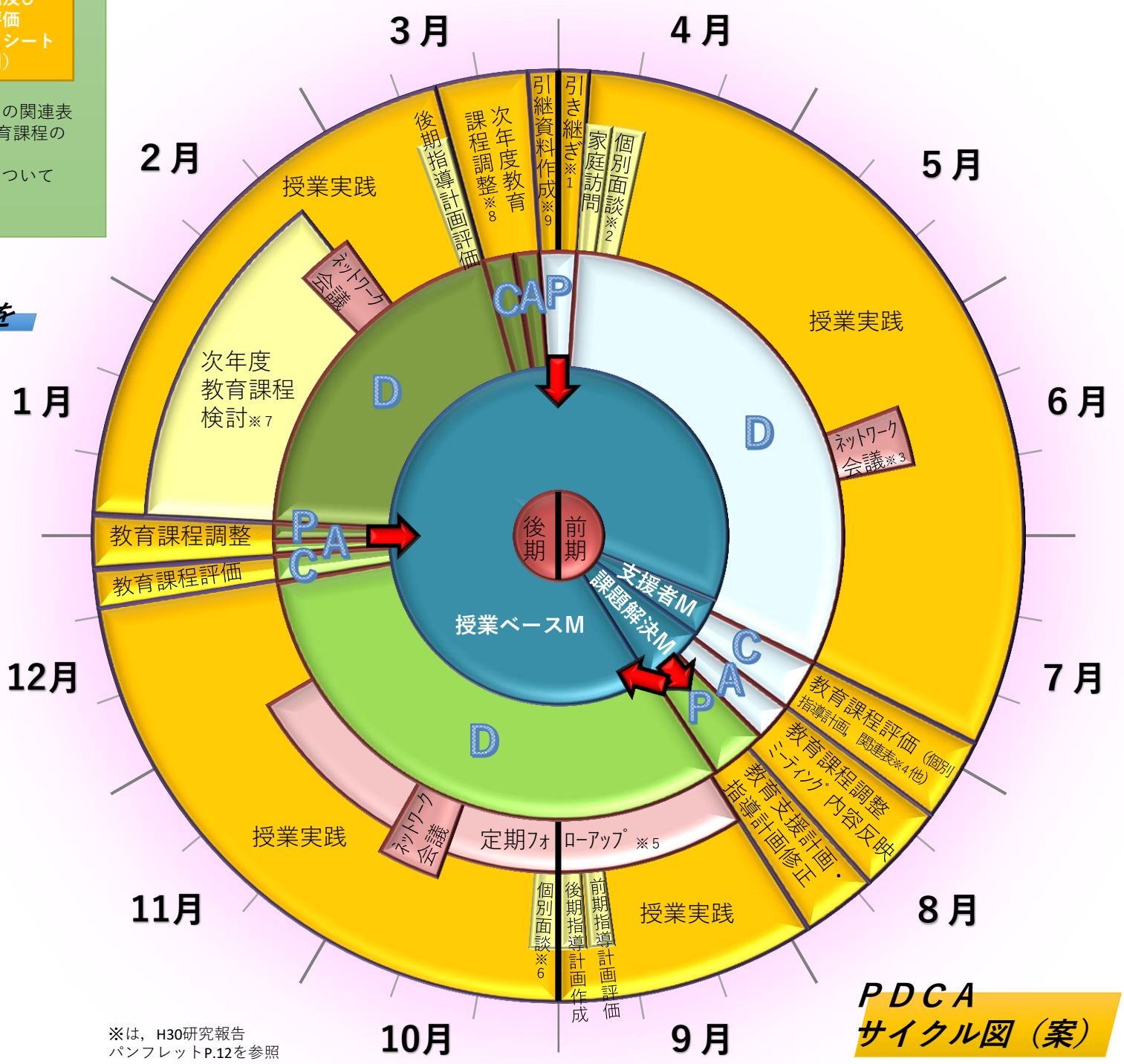
C：学習評価を基にした，個別の指導計画の評価及び，教科との関連表（H28研究紀要参照）の評価，単元評価等を資料とし，教育課程の評価を行う。
A：学部会及び教育課程検討委員会において評価及び改善案について検討し，学部間調整及び次期教育課程調整を行う。

評価の目的と内容を明確にする

	評価実施の目的	評価材料	関連
1単位授業段階	児童生徒の学習状況と成長の把握	◆評価基準 ◆教師の見取り ◆自己評価	➢ M段階の評価の資料 ➢ 指導計画・内容等改善における評価資料
	指導計画・内容等の改善	◆学習状況，成長評価 ◆授業評価（指導目標・内容・方法等）	➢ 次時の授業改善，以降の授業づくり資料
単元段階	児童生徒の学習状況と成長の把握	◆単元等の目標に対する実現状況の把握（目標に準拠した評価） （◆目標にとらわれない評価）	➢ 個別の指導計画評価の資料 ➢ 単元評価の資料
	指導計画・内容等の改善	◆学習状況，成長評価 ◆単元評価（指導目標・内容，教材，時数，指導対象・時期・形態・方法，評価基準・方法，予算，施設等） ◆他教科との関連の必要性	➢ 以降の単元や次年度の授業づくりの資料
学期・年間段階	教育課程経営の成果と課題	◆個別の指導計画評価 ◆指導内容評価（教科等との関連表） ◆教育課程実施状況（年間指導計画）の評価	➢ 次期・次年度のカリキュラム改善の資料
	次期・年度のカリキュラム改善	◆学校教育目標　◆教育課程経営方針 ◆教育課程経営の成果・課題　◆週時程 ◆体制　◆教育資源　◆外部との連携	➢ 次期・年度のカリキュラム

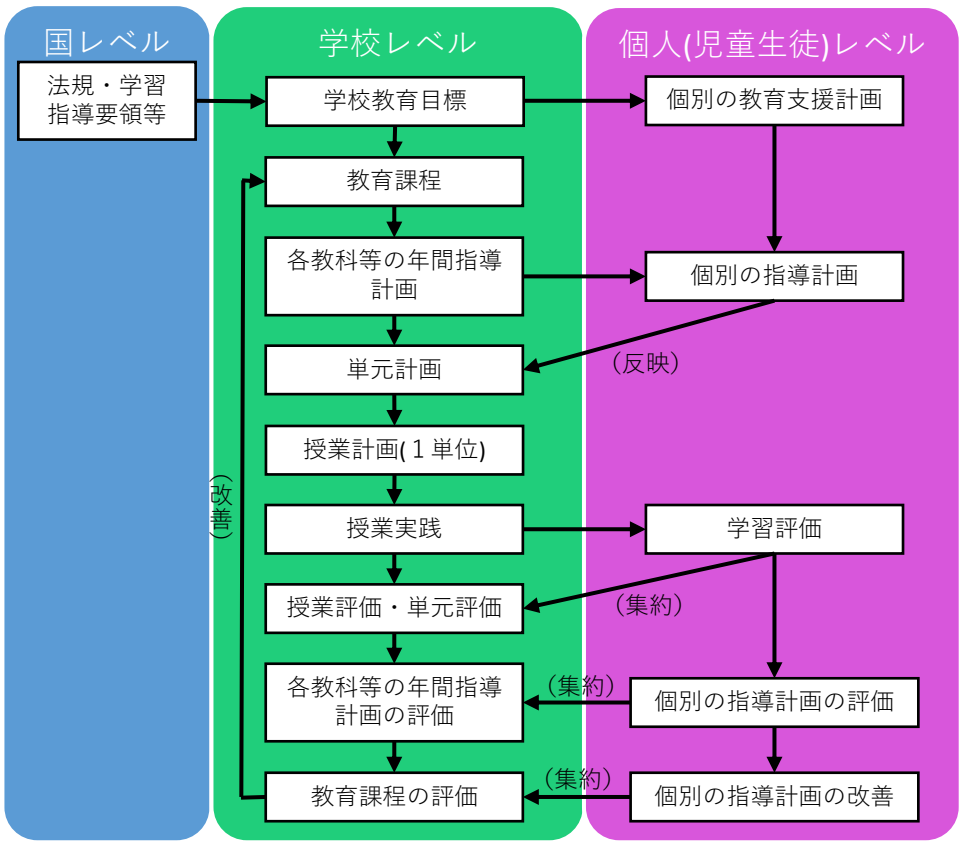
個別の指導計画の実施状況の評価と改善を教育課程の評価・改善へとつなげる





※は，H30研究報告
パンフレットP.12を参照

ＰＤＣＡサイクル図（案）


国レベル
学校レベル
個人(児童生徒)レベル
法規・学習
指導要領等
学校教育目標
個別の教育支援計画
教育課程
各教科等の年間指導
計画
個別の指導計画
（反映）
単元計画
授業計画(１単位)
（改善）
授業実践
学習評価
授業評価・単元評価
（集約）
各教科等の年間指導
計画の評価
（集約）
個別の指導計画の評価
教育課程の評価
（集約）
個別の指導計画の改善